

第2回 建設現場で働く人々の誇り・魅力・やりがい検討委員会
議事要旨

1. 開催日時：平成31年2月19日（火）16：00～18：00
2. 場所：中央合同庁舎第3号館4階特別会議室
3. 議事
 - (1) これまでの主な議論について
 - (2) 関係団体等における取組紹介
 - (3) これまでの取組に対する考察
 - (4) 「誇り・魅力・やりがい」の向上に必要な視点
 - (5) その他

主な議論の内容は以下のとおり

- 建設業界に必要なのは、従来のイメージを上書きする「リブランディング」に集約されるのでは。リブランディングでは、“人命と財産を守る”といった思想（精神）と哲学がなければ、戦略がなく戦術だけになってしまう。そのため、技術者・技能者の思想と哲学を明確にし、各者のこれまでの取組を戦術として、戦略を立てていくといいのでは。
- 個別に取り組まれている事例を分類・整理して、セグメント化することで取組を結びつけたり、水平展開したりするなど、各者が取り組みやすくすることが有効ではないか。
- 魅力向上に向けた施策では、処遇の改善（所得や資格など）が重要である。それにより業界の就職者が増え、社会保険加入の促進等の好循環も期待できる。海外の技術者・技能者には、処遇の良さがやりがいにつながっている事例もある。
- 施策のターゲットについて、学生の進路に影響力がある母親を設定すると有力だと思う。また、子供や学生の場合は、建設業への理解を深めてもらう取組を、学校教育に組み込んでほしい。

以上